

原子スケールにおける 界面熱流体輸送現象の解明と制御

#熱流体工学

#分子熱流体工学

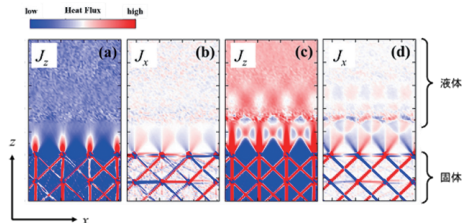
#界面物質-エネルギー輸送

#分子動力学

#半導体洗浄プロセス

研究
内容

界面における熱流体現象（熱輸送、濡れ、相変化現象等）は身近な存在であるとともに、工学的にも現象解明と制御が重要です。特に固体と液体の界面において、エネルギーの流れとそのメカニズムに着目した研究を行っております。原子スケールにおいて熱流体の観点から新しい現象解明の方法論や制御方法の創出を行うことを目指しております。



Develop+

応用分野

界面プロセス最適化、省エネルギー



藤原 邦夫 FUJIWARA Kunio

附属フューチャーイノベーションセンター
テクノアリーナ教授 / 機械工学専攻 准教授
熱流動態学講座 マイクロ熱工学領域 芝原研究室
若手卓越支援部門 若手卓越教員



論文・解説など

- [1] K. Fujiwara and M. Shibahara, *Phys. Rev.*, E 105, 034803, 2022.
- [2] K. Fujiwara and M. Shibahara, *Sci. Rep.*, 9, 13202, 2019.
- [3] K. Fujiwara and M. Shibahara, *Appl. Phys. Lett.*, 114, 011601, 2019.

連絡先HP

